

特集

妊娠期からできる 虐待防止の方策

「気になる妊婦」を見つけるための連携と支援

昨今、世間では痛ましい虐待事件が多発しています。本来愛されるべき子どもが傷つけられ、果ては亡くなってしまうニュースを見るたび、こうした子どもたちを何とか救うことができたのでは？と思う方も多いのではないのでしょうか。

また、日常の業務を振り返ると、何となく「気になる」と思った妊婦はいませんでしたか？ 確かに直感ではあるものの、何となくおかしいと感じる——こうした妊婦を早い段階で他職種につなぎ、連携をとって関わっていくことができれば、将来発生するリスク・事件を未然に防ぐことができると考えられます。本特集では、「気になる妊婦」や「特定妊婦」といった虐待リスクの高い妊婦への支援方法と実際を取り上げ、助産師が関われるタイミングで、虐待を未然に防ぐためにできることを考えます。